

# 介護工学研究会 平成 18 年度 活動報告

## 定例会

基本的に毎月第 1 木曜日 19:00-21:00 に行っている。

会場は第 123 回までが新居浜高専リエゾンルームで行っていたが、125 回以降、新居浜市まちづくり協働オフィスで行うことにした。平成 18 年度は延べ 98 名のメンバーが定例会に参加。

TV 会議システムで四国中央市のメンバーとも交信している。

基本的には情報交換会であるが、メンバーや外部機関が開発したものについての多彩なメンバーによる多様な視点からの意見交換などを行っている。

第 121 回 平成 18 年 4 月 6 日(木)

第 122 回 平成 18 年 5 月 18 日(木)

4/22 のバリアフリー2006 への研修会の報告。

第 123 回 平成 18 年 6 月 1 日(木)

第 124 回 平成 18 年 7 月 21 日(金)

フィンランドのフィンソール社による身体バランス矯正についての情報共有

第 125 回 平成 18 年 9 月 7 日(木)

水素イオンをもつ電解還元水を製造する医療機器について、(株)日本トリムの方をお招きし、その効果など学術的裏づけ、研究段階のことがらなどについて説明を受けた。

第 126 回 平成 18 年 10 月 5 日(木)

第 127 回 平成 18 年 11 月 2 日(木)

新居浜市内で福祉用具貸与事業をされておられる福祉用具専門相談員の方が、介護中に「あったら便利だなあ」と思いついたアイデアについて検討した。

介護工学研究会には今回も介護士、看護師、車椅子生活者、福祉用具貸与事業者、機械設計者、知財(特許)関係の方など幅広く、いろいろな角度からの意見を交わした。

今回の件(問題提起)によって、新たな製品の開発の必要性などが浮かび上がった。

今後、用途や対象者を絞込み、構造などについて検討していく。

第 128 回 平成 18 年 12 月 1 日(金)

第 129 回 平成 19 年 1 月 11 日(木)

調理器具の特性評価(調理&試食)。野菜などに含まれる水分を逃がさず、利用して料理するため、てんぷらをして油をほとんど吸わず、魚を焼いても煙や臭いがたたないの、オフィスのミーティングルームで行いました。魚を焼いた鍋(!?)を水とペーパーで表面を拭いただけで、ご飯を 20 分で炊きましたが、魚の臭いも味も移っていません。料理の常識を覆すものであった。

介護工学研究会は今回も男性が多く、料理をほとんどしない人間が多かったけれど、その不思議さは十分伝わりました。日頃料理をしている女性なら、驚きの連続でしょう。理由が解明されていないけれど、研究の価値あるしるものでした。

第 130 回 平成 19 年 2 月 1 日(木)

高専学生による福祉機器の開発に関する卒業研究の発表など

第 131 回 平成 19 年 3 月 1 日(木)

経済産業省のキッズデザインについての報告

## 開発成果発表

第 6 回高知福祉機器展 平成 18 年 6 月 17、18 日(日)

介護工学研究会のメンバーが開発した以下の 2 点を出展した。

- ・ 着脱式ダンス用スティック
- ・ 駐車スペースお願いシート

(昨年の第 5 回はチルト補助具の展示を依頼され参加)



高知福祉機器展に出展風景

## 福祉機器改善相談事業

いろいろなところから依頼を受けて出張「福祉用具相談コーナー」を開設しています。

(介護工学研究会、NPO 新居浜いきいき工房共催)

- ・ 第 11 回生き生き幸せフェスティバル 平成 18 年 10 月 1 日  
新居浜市総合福祉センター (ふれあいプラザ)
- ・ 「はまさい」 平成 19 年 2 月 4 日(日) トヨシマ跡
- ・ 平成 18 年度 社協「福祉機器修理改善相談コーナー」  
平成 18 年 4 月 20 日(木)、 5 月 18 日(木)、 6 月 15 日(木)、  
7 月 20 日(木)、 8 月 17 日(木)、 9 月 21 日(木)、  
10 月 19 日(木)、 11 月 16 日(木)、 12 月 21 日(木)、  
平成 19 年 1 月 18 日(木)、 2 月 15 日(木)、 3 月 15 日(木)



「はまさい」での相談コーナー

## 研修

バリアフリー2006 研修会 平成 18 年 4 月 22 日(土) インテックス大阪  
参加者それぞれが目的を持って展示品の見学という研修に挑んだ。

- ・ 現在実際に使われている自動車への移乗装置がどのようなものか調べる
- ・ 姿勢を保持するための商品にどのようなものがあるのか調べる
- ・ 介護者・要介護者の考えなどを知る。
- ・ 利用者のすべてのニーズに対応できる体制をとるため、小型車(軽四)でストレッチャーと車椅子を併用使用できる車両をさがす。
- ・ 介護業務に関わる者として最新の福祉用具情報を入手し、業務に活かし反映させること
- ・ 「介護用品・用具など現存するどのようなものがあるか、それがどのような役割をするのかを自分の目で見て勉強したい」
- ・ セミナー受講：血液サラサラで老化防止、抗加齢医療におけるサプリメントの利用
- ・ 技術者達がどのような最新機能をもった介護用製品作り、どのくらい高齢者や障害者達に役に立っているか知ること。



熱心に説明を聞くメンバー

## 新製品試乗会

平成 19 年 3 月 13 日(火) 18:30-20:30 新居浜高専にて  
トヨタカローラ愛媛(株)(松山)の御好意により、Patrafour  
という砂地や畑のあぜ道も走行できる特殊な車輪(前輪)を  
使用した 4 輪駆動の車椅子の試乗会を開催した。

写真にあるような草地や 10cm の段差を乗り越える体験をし、その後、メンバーからこの技術を用いた新たな市場についての意見がでる。



深い草の中も平気



10cm の段差越え